

みんなが「考動」できる地域防災づくり



袋井市キャラクター フッピー

①「袋井市防災ガイドブック」・・・・・・・・



②「袋井市避難所運営マニュアル」・・・
「袋井市避難所運営マニュアル」
～新型コロナウイルス感染症対策編～



③「静岡県地域防災活動マニュアル」・・・



④「静岡県避難所運営マニュアル」・・・



目 次

- | | | |
|---|--------------------|--------|
| 1 | 静岡県第4次地震被害想定概要 | … P 1 |
| 2 | みんなが「考動」できる地域防災 | … P 2 |
| 3 | 自主連合防災単位で支援可能な訓練項目 | … P 12 |
| 4 | 防災出前講座のご案内 | … P 15 |

1 【静岡県第4次地震被害想定概要】※被害想定の内最悪のケース（P2イメージ図参照）

○第一次報告（平成25年6月27日公表）

1 想定される震度、津波高

想定区分		レベル1	レベル2
震度区分 (面積率)	震度7	61.5%	<u>86.1%</u>
	震度6強	38.5%	<u>13.9%</u>
最大津波高		5m	<u>10m</u>
津波浸水面積		0.3km ²	<u>2.5km²</u>

2 人的被害 (単位：人)

要因	死者数	
	袋井市	静岡県
建物倒壊等	約600	約7,800
火災	約70	約3,300
山・崖崩れ	—	約200
津波	約10	約96,000
ブロック塀の転倒、 屋外落下物	—	約20
合計	<u>約600</u>	約105,000

3 建物被害 (単位：棟)

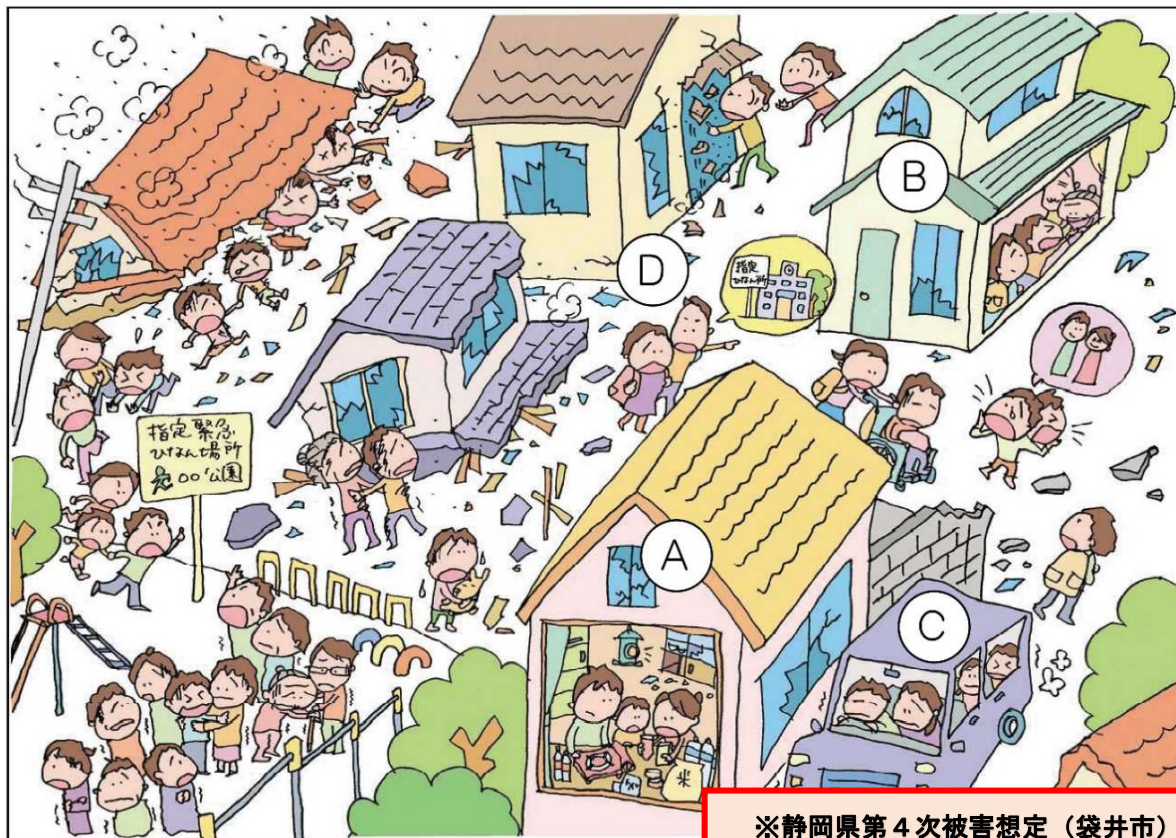
要因	全壊・焼失棟数	
	袋井市	静岡県
揺れ	約12,000	約191,000
人工造成地	約1,900	約17,000
火災	約800	約66,000
液状化	約40	約1,800
山・崖崩れ	約30	約2,700
津波	—	約28,000
合計	<u>約15,000</u>	約304,000

○第二次報告（平成25年11月29日公表）

4 避難者数 (単位：人)

1日後			1週間後			1ヶ月後		
避難所	避難所外	合計	避難所	避難所外	合計	避難所	避難所外	合計
<u>26,240</u>	<u>17,463</u>	<u>43,703</u>	25,354	25,225	50,579	14,583	34,027	48,610

2 みんなが「考動」できる地域防災づくり



※上のイラストは、大規模地震発生直後のある街の様子です。

※静岡県第4次被害想定（袋井市）

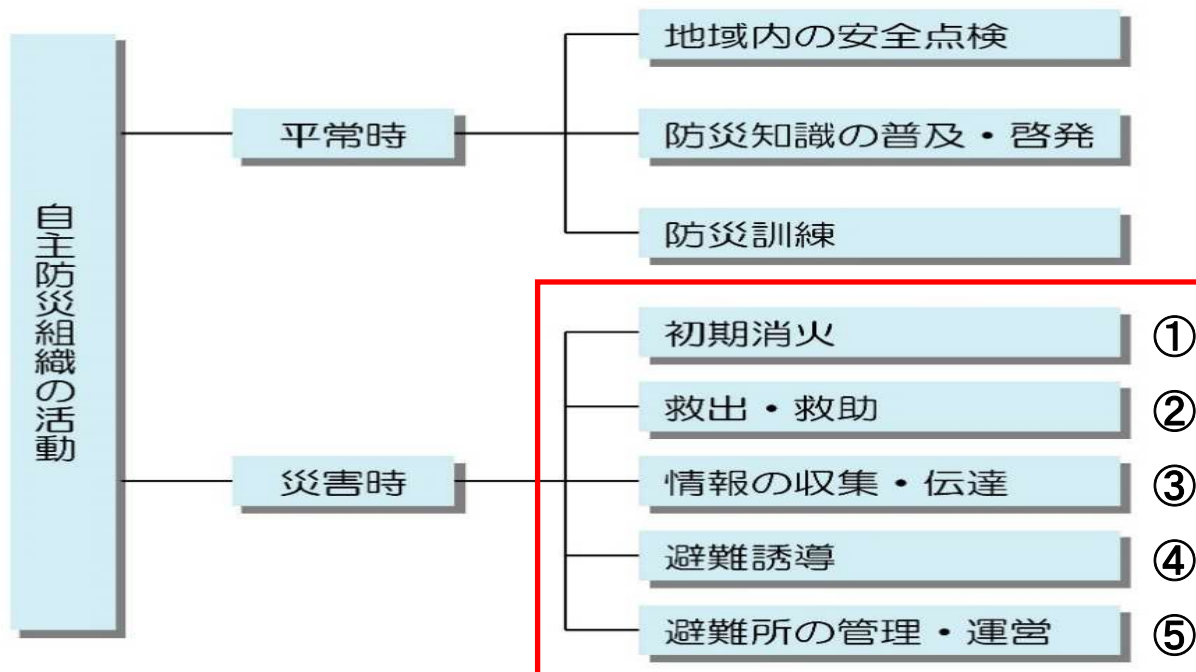
○建物全壊・焼失＝約 15,000 棟

○死者＝600 人○重症者＝約 2,700 人

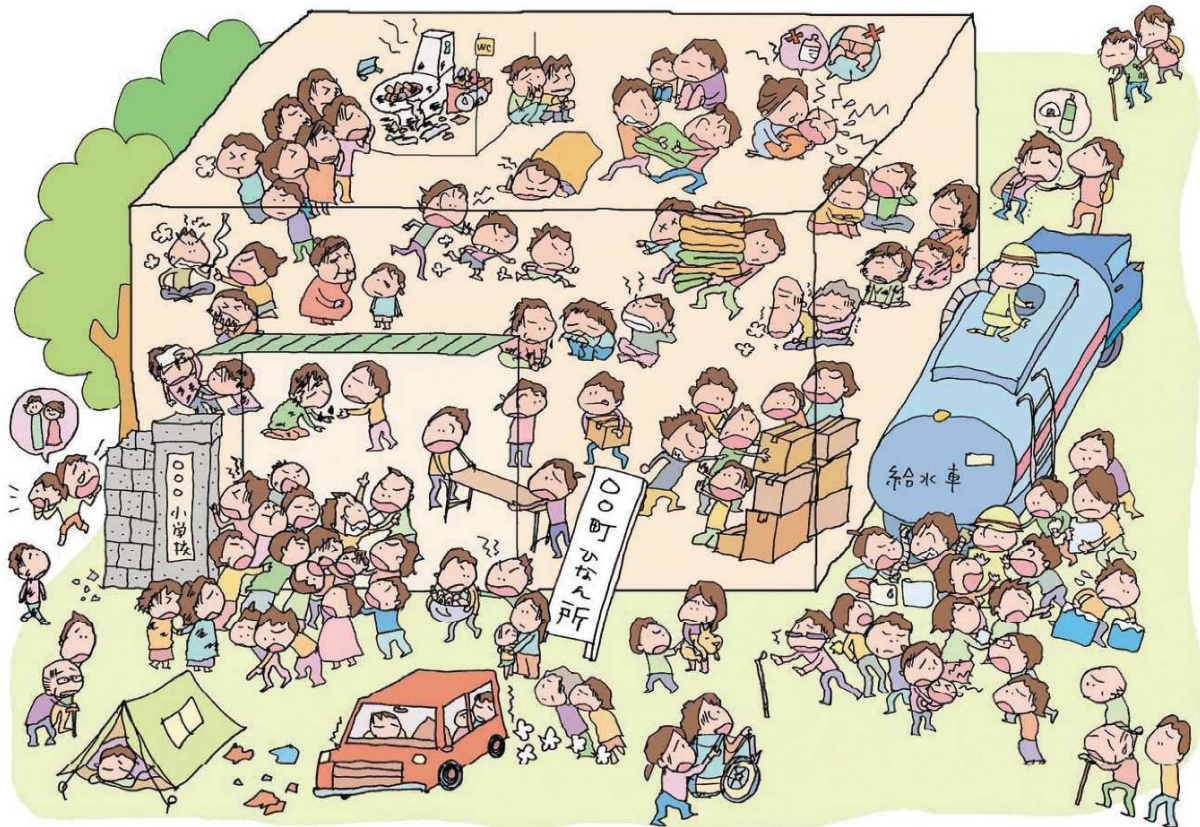
◎ 自主防災組織の役割

自主防災組織は、大規模な災害が発生した際、地域住民が的確に行動し被害を最小限にするため、日ごろから地域内の安全点検や住民への防災知識の普及・啓発、防災訓練の実施など災害に対する備えを行い、また、実際に災害が発生した際には、初期消火活動、被災者の救出・救助、情報の収集や避難所の運営といった活動を行うなど、非常に重要な役割を担っています。

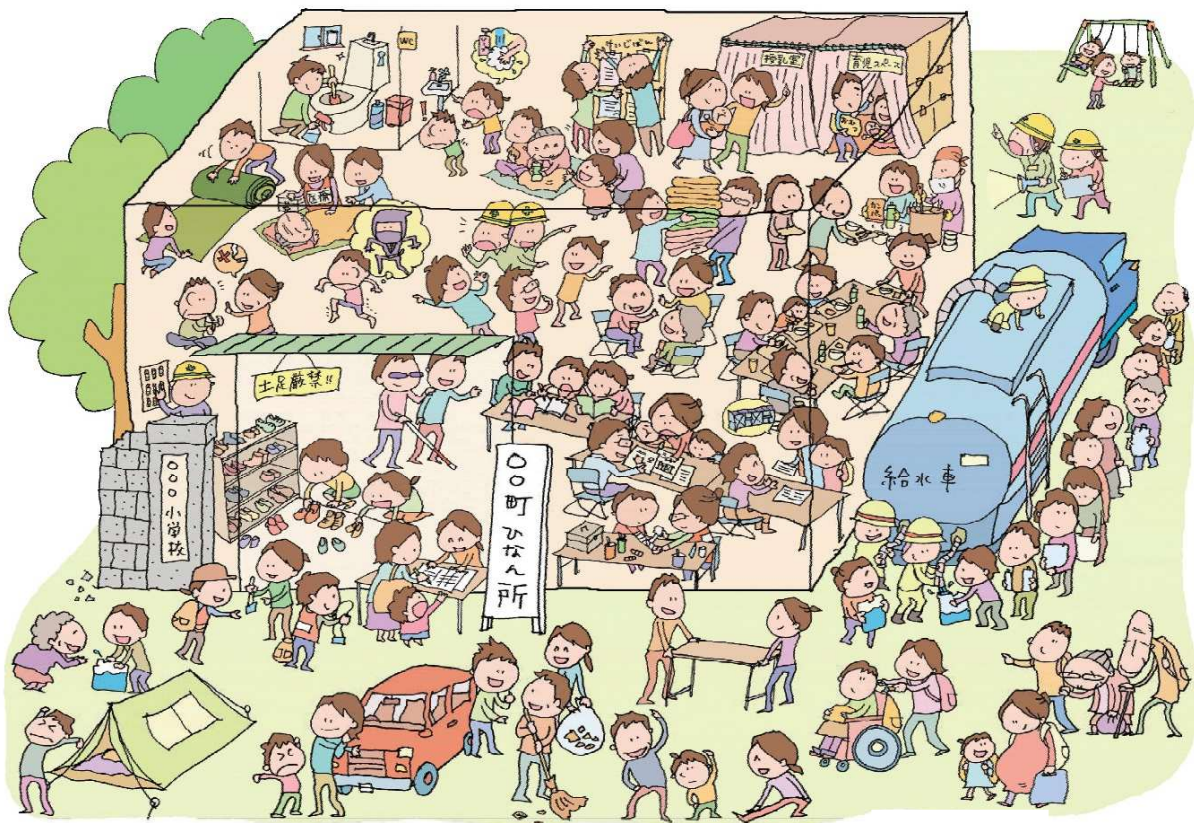
①自宅避難する人、②縁故避難する人、③車中泊避難する人、④避難所へ行く人など様々ですが、避難する前に地域の自主防災活動（共助）として、できることを考えてみましょう。



①みんながバラバラで自分勝手な避難所

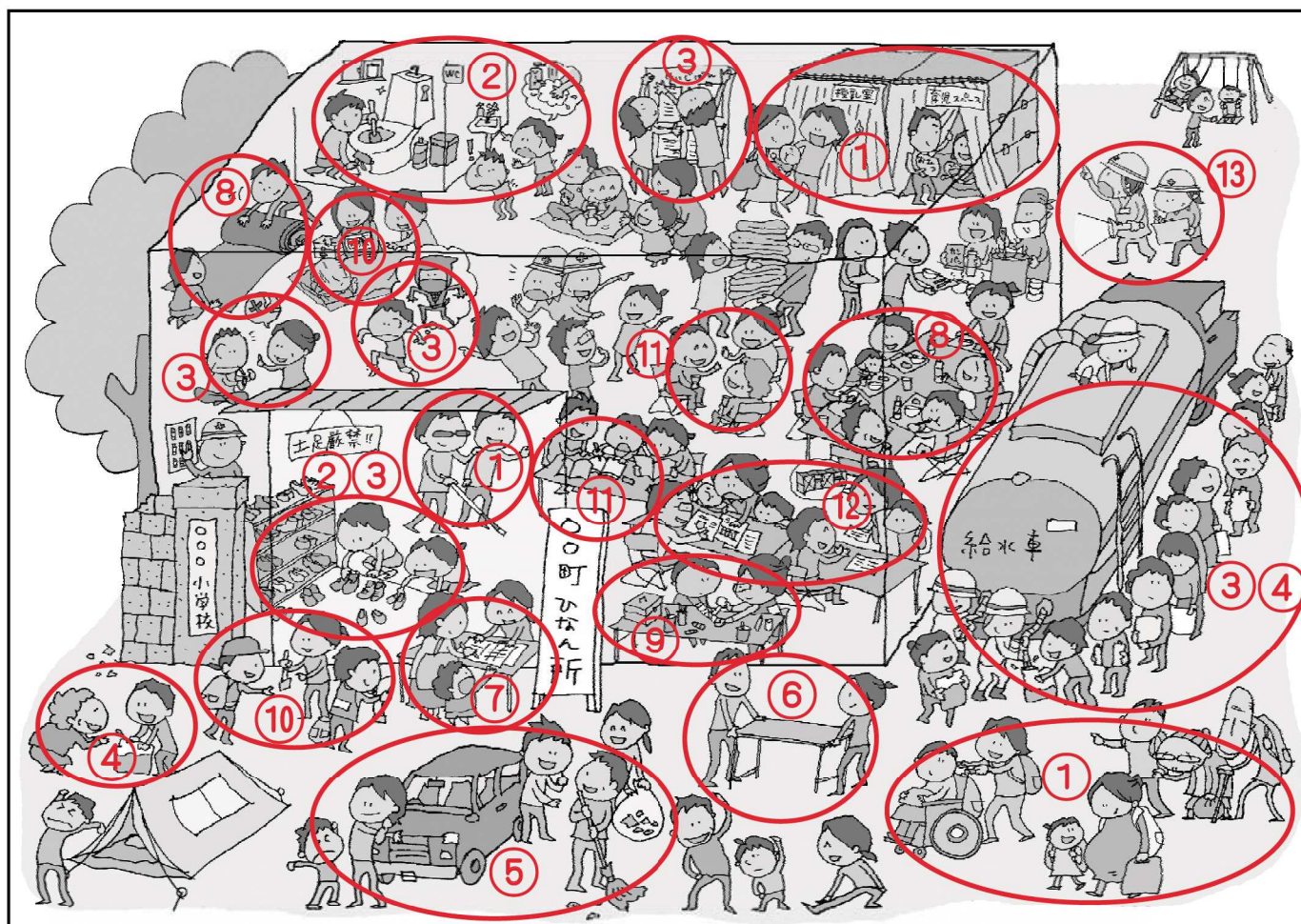


②みんなが主役の避難所



※ ①と②を比べて、配慮されている事は何か考えてみましょう！（次頁参照）

〇〇町ひなん所で配慮されている事



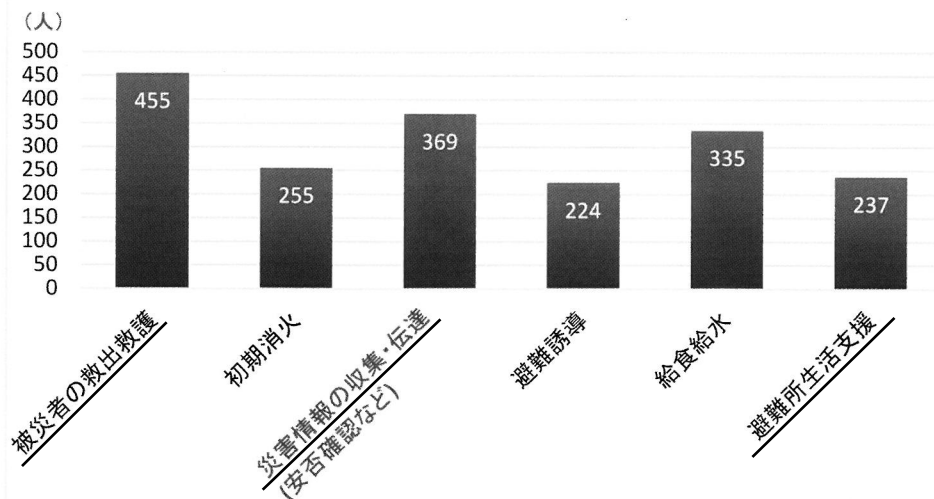
- ① 要配慮者への配慮（高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児など）
- ② 衛生管理（手洗いの徹底、トイレ掃除、土足禁止など）
- ③ 避難所のルール（掲示板、静かに歩く、整理整頓、水の受け取り、禁煙など）
- ④ 地域（避難所外避難者）との連携（水の提供など）
- ⑤ 車中泊者の対応（避難所運営への協力、エコノミークラス症候群の予防など）
- ⑥ 男女共同参画
- ⑦ 避難所利用者の把握（受付の設置など）
- ⑧ 避難所のレイアウト（通路の確保、居室と分けた食事場所など）
- ⑨ 傷病者への対応
- ⑩ ボランティアの受入
- ⑪ 子ども学習室、コミュニティスペースの確保
- ⑫ 相談窓口の設置（生活再建など）
- ⑬ 施設の安全確認、見回り

※ 上記は一例です。その他にも配慮するともっと良くなる事などを考えてみましょう。

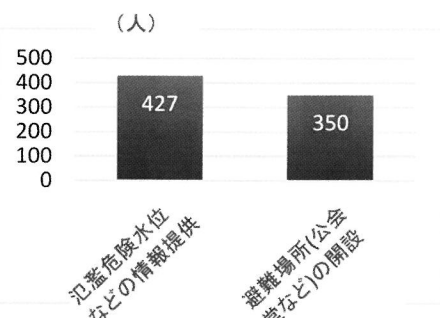
※ 本マニュアルを参考に、地域で避難所運営について考えてみましょう。

2. 自治会活動と防災について

2-(1)①（地震発生時）災害発生時に、行政支援が行われるまでの間、自治会に期待することは何ですか？【複数選択可】



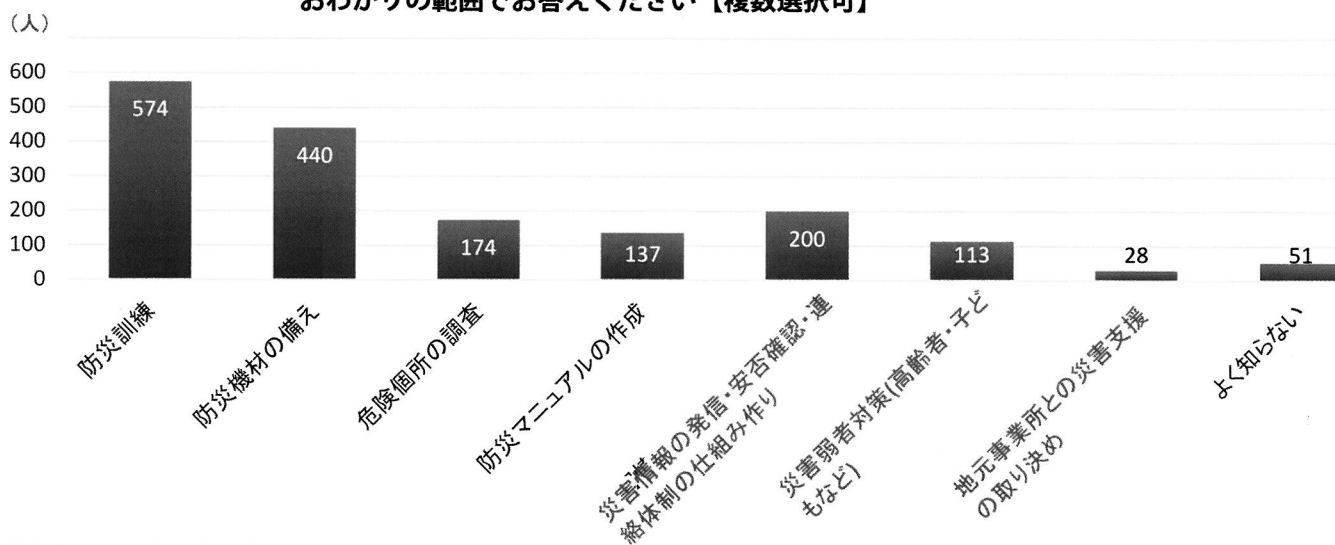
2-(1)②（洪水発生前）災害発生時に、行政支援がなされるまでの間、自治会に期待することは何ですか？【複数選択可】



両項目とも多くの方に期待されています。特に危険水位など情報提供への要望が多くなっています。

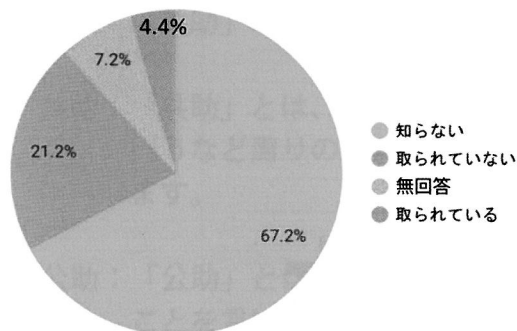
共助への期待は救助・情報提供・生活物資の確保などであり、自治会の実行力が問われます。

2-(2) あなたの自治会では以下の取り組みがなされていることを知っていますか。おわりの範囲でお答えください【複数選択可】



防災訓練・機材の準備以外にも知っていただく必要性を感じます。

2-(3) あなたの自治会では女性目線に立った防災対策が取られていますか？



2-(3)-1【取られている】と回答された方にお伺いします。どのような対策ですか？ご存じのことを具体的に教えてください。

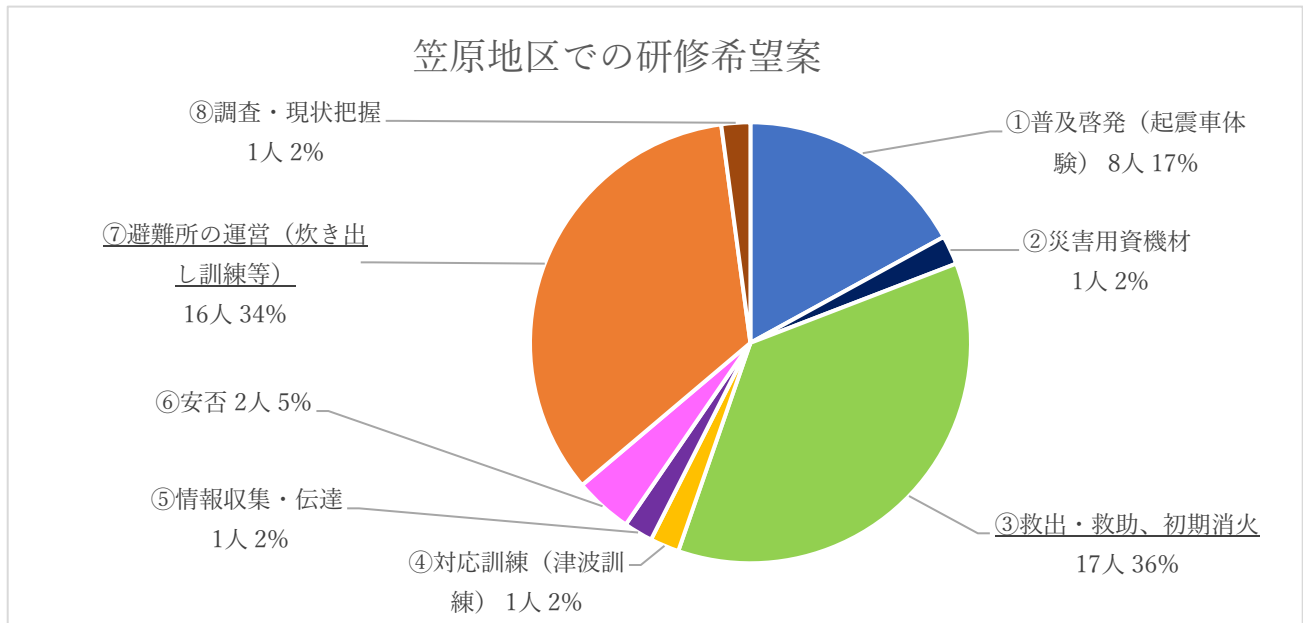
- 1 女性の得意分野である救護、炊き出しなどの訓練に参加している (9名)
- 2 自治会の防災組織に女性の担当者が任命されている (4名)
- 3 避難所に女性用トイレ、個別トイレが設置されている (3名)
- 4 消火訓練・可搬ポンプ使用訓練等女性にも機会を与えられている (2名)

知らない、取られていないを合わせて90%以上あり、女性目線での防災対策が十分取られてないと思われます。

令和4年2月
袋井東地区まちづくり協議会
アンケート結果報告書より抜粋

笠原地区地域防災対策会議(5/13) 訓練等希望アンケート結果

1. アンケート結果



2. 主な希望項目

	項目	回答数	項目ごと
①	起震車体験（子供含む）	7	8
	土砂災害、水害等映像による訓練（シュミレーション等）	1	
②	防災グッズの使い方	1	1
③	救出・救護（応急救護訓練） ※担架、包帯、止血、心臓マッサージ、AED等	13	17
	体験訓練（消火器・発電機・担架等）	4	
④	津波の訓練	1	1
⑤	LINE等の活用	1	1
⑥	黄色いハンカチ・旗等の活用	1	2
	高齢者救助訓練	1	
⑦	炊き出し（子供含む、主食＋副食、自衛隊による）	7	16
	避難所への避難訓練（徒歩集合含む）	3	
	避難所の見学（設置後）	2	
	職場からの帰宅方法をやってみたい	1	
	避難場所の設営		
	※防災テントやトイレの設置（子供たちと一緒に）、ペット（同伴）の避難場所	3	
⑧	自分の地区の危険な場所、災害予想の確認と避難方法	1	1
	計	47	47

※令和5年5月
笠原地区地域防災対策会議
アンケート結果より抜粋

令和6年度の取組スケジュール(袋井北支部)

4月20日(土)	9:00-12:00	自主(連合)防災隊長会議 (市役所東分庁舎:コスモス館)
6月	19:00-20:30	第1回袋井北・北四町 地域防災対策会議 (袋井北コミュニティセンター)
5月	未定	災害対策管理表ワークショップ(1回目) (袋井北コミュニティセンター)
6月	未定	災害対策管理表ワークショップ(2回目) (袋井北コミュニティセンター)
7月	未定	災害対策管理表ワークショップ(3回目) (袋井北コミュニティセンター)
7月6日(土)	9:30-11:30	総合防災訓練説明会 (市役所東分庁舎:コスモス館)
8月	19:00-20:30	第2回袋井北・北四町 地域防災対策会議 (袋井北コミュニティセンター)
9月1日(日)	9:00-12:00	総合防災訓練
10月5日(土)	9:30-11:30	地域防災訓練説明会 (市役所東分庁舎:コスモス館)
11月	19:00-20:30	第3回袋井北・北四町 地域防災対策会議 (袋井北コミュニティセンター)
12月1日(日)	9:00-12:00	地域防災訓練
2月	19:00-20:30	第4回袋井北・北四町 地域防災対策会議 (袋井北コミュニティセンター)

袋井北地区防災ワークショップの様子



進行



前回振り返り



ワークショップの進め方



今日の内容



ワークショップ



中間報告

みんなが「考動」できる防災訓練(例1-①:〇〇地区9月防災訓練)

災害時の自主防災活動	防災訓練メニュー	
	浅羽〇支部(浅羽〇小学校) <u>浅羽〇〇自主連合防災隊本部</u>	<u>〇〇自主防災隊本部(10隊)</u> (公会堂・公園・広場等)
① 初期消火 	☐ 可搬ポンプによる放水訓練 —※消防団	☒ 可搬ポンプによる放水訓練 ☒ 水消火器による訓練 ☐ 消火器の取り扱い訓練 ☐ バケツリレー ※従来からの防災訓練を実施
② 救出・救助 	■応急救護訓練(浅羽〇小学校で実施) ※ <u>地域在住の有資格者(看護師、保健師、防災士等)や経験者(消防団、消防、自衛隊等)による</u> 家庭内や自主防災倉庫にある資機材を利用した応急救護訓練 ※ <u>各自主防災隊の衛生救護班又は災害時に各自治会で衛生救護を先導する防災役員〇人参加</u> (各自主防災隊〇人×10自治会=〇〇人) ※ <u>訓練効果—各自治会内に災害時の自主防災活動为先導する防災役員(住民)を増やす。</u> (「助けられる人」から「助ける人」への実践)	
③ 情報の収集・伝達 	■報告様式による情報収集・伝達(浅羽〇支部 ⇄ 10自主防災隊本部) ・安否確認 ・被害報告 重点	
④ 避難誘導 	■本部運営訓練(市指定避難所) ■無線等の通信テスト ・自主防トランシーバー ・市デジタル無線 ■災害支援システムの運用	■本部運営訓練(公会堂等) ■無線等の通信テスト ・自主防トランシーバー ※従来からの防災訓練を実施
	■自主防台帳を活用した安否確認 ■黄色いタオル、旗等の掲出訓練 ☐ 要避難者の避難支援 ☐ 地区内の巡回、危険箇所の広報 ☐ 自宅から市指定避難所まで避難誘導 ☐ 地震、水害時等の避難経路確認 ※従来からの防災訓練を実施	■自主防台帳を活用した安否確認 ■黄色いタオル、旗等の掲出訓練 ☐ 要避難者の避難支援 ☐ 地区内の巡回、危険箇所の広報 ☐ 自宅から市指定避難所まで避難誘導 ☐ 地震、水害時等の避難経路確認 ※従来からの防災訓練を実施
⑤ 避難所の管理・運営 	■住民による避難所運営訓練(浅羽〇小学校で実施) 重点 ※ <u>支部の市職員や浅羽〇〇自主連合防災隊の役員による浅羽〇〇地区避難所開設マニュアルを活用した</u> 防災倉庫資機材の紹介、避難所設営、受付方法、役割分担説明、女性目線での配慮等の避難所運営訓練 ※ <u>各自主防災隊の生活(避難所)班又は災害時に各自治会で避難所運営を先導する防災役員〇人参加</u> (各自主防災隊〇人×10自治会=〇〇人) ※ <u>訓練効果—各自治会内に災害時の自主防災活動为先導する防災役員(住民)を増やす。</u> (「助けられる人」から「助ける人」への実践)	
	☐ 給水訓練	☐ 炊き出し訓練

みんなが「考動」できる防災訓練(例1-②:〇〇地区12月訓練)

災害時の自主防災活動	防災訓練メニュー	
① 初期消火 	浅羽〇支部(浅羽〇小学校) 浅羽〇〇自主連合防災隊本部	〇〇自主防災隊本部(10隊) (公会堂・公園・広場等)
② 救出・救助 	☐ 応急救護訓練 ☐ 救出訓練 ☐ 負傷者の搬送訓練 ※消防署、消防団、保健師、 看護師、自衛隊等	☐ 応急救護訓練 ☐ 救出訓練 ☐ 負傷者の搬送訓練 ※消防署、消防団、保健師、 看護師、自衛隊等
③ 情報の収集・伝達 	■報告様式による情報収集・伝達 (浅羽〇支部 ⇄ 10自主防災隊本部) ・安否確認 ・被害報告 重点	
④ 避難誘導 	☐ 自主防台帳を活用した安否確認 ■黄色いタオル、旗等の掲出訓練 ☐ 要避難者の避難支援 ☐ 地区内の巡回、危険箇所の広報 ☐ 自宅から市指定避難所まで避難誘導 ■地震、水害時等の避難経路確認 ※従来からの防災訓練を実施	☐ 自主防台帳を活用した安否確認 ■黄色いタオル、旗等の掲出訓練 ☐ 要避難者の避難支援 ☐ 地区内の巡回、危険箇所の広報 ☐ 自宅から市指定避難所まで避難誘導 ■地震、水害時等の避難経路確認 ※従来からの防災訓練を実施
⑤ 避難所の管理・運営 	■避難所運営委員会設置訓練 (浅羽〇小学校で実施) ※支部の市職員や浅羽〇〇自主連合防災隊の役員による 避難所役割分担、運営委員会の設置説明、HUG (机上避難運営) 訓練等の実施 ※各自主防災隊の生活(避難所)班又は災害時に各自治会で避難所運営を先導する防災役員〇人参加 (各自主防災隊〇人×10自治会=〇〇人) ※訓練効果一各自治会内に災害時の自主防災活動を先導する防災役員(住民)を増やす。(「助けられる人」から「助ける人」への実践) ☐ 物資搬送訓練 ☐ 給水訓練 ☐ 物資搬送訓練 ■炊き出し訓練	

みんなが「考動」できる防災訓練(例2-①:□□地区9月防災訓練)

災害時の自主防災活動	防災訓練メニュー	
① 初期消火 	袋井〇〇支部(袋井〇小学校) 袋井〇〇自主連合防災隊本部 ☐可搬ポンプによる放水訓練 ☐※消防団	〇〇自主防災隊本部(10隊) (公会堂・公園・広場等) ☒可搬ポンプによる放水訓練 ☒水消火器による訓練 ☐消火器の取り扱い訓練 ☐バケツサレー ※従来からの防災訓練を実施
② 救出・救助 	■応急救護訓練 (袋井〇小学校で実施) ※<u>市災害対策本部救護衛生班の保健師や支部の市職員、消防署員、自衛隊員、県看護協会中東遠地区支部看護師による</u> 家庭内にあるものを利用した応急救護訓練 ※<u>各自主防災隊の衛生救護班又は災害時に各自治会で衛生救護を先導する防災役員〇人参加</u> (各自主防災隊〇人×10自治会=〇〇人) ※<u>訓練効果—各自治会内に災害時の自主防災活動を先導する防災役員(住民)を増やす。</u> (「助けられる人」から「助ける人」への実践)	
③ 情報の収集・伝達 	■報告様式による情報収集・伝達 (袋井〇〇支部⇔10自主防災隊本部) ・安否確認 ・被害報告 重点 ■本部運営訓練 (市指定避難所) ■無線等の通信テスト ・自主防トランシーバー ・市デジタル無線 ■災害支援システムの運用	■本部運営訓練 (公会堂等) ■無線等の通信テスト ・自主防トランシーバー ※従来からの防災訓練を実施
④ 避難誘導 	■自主防台帳を活用した安否確認 ☐黄色いタオル、旗等の掲出訓練 ☐要避難者の避難支援 ☐地区内の巡回、危険箇所の広報 ☐自宅から市指定避難所まで避難誘導 ■地震、水害時等の避難経路確認 ※従来からの防災訓練を実施	■自主防台帳を活用した安否確認 ☐黄色いタオル、旗等の掲出訓練 ☐要避難者の避難支援 ☐地区内の巡回、危険箇所の広報 ☐自宅から市指定避難所まで避難誘導 ■地震、水害時等の避難経路確認 ※従来からの防災訓練を実施
⑤ 避難所の管理・運営 	■住民による避難所運営訓練 (袋井〇小学校で実施) 重点 ※<u>支部の市職員による</u> 防災倉庫資機材の紹介、避難所設営、受付方法、役割分担説明等の運営訓練 ※<u>各自主防災隊の生活(避難所)班又は災害時に各自治会で避難所運営を先導する防災役員〇人参加</u> (各自主防災隊〇人×10自治会=〇〇人) ※<u>訓練効果—各自治会内に災害時の自主防災活動を先導する防災役員(住民)を増やす。</u> (「助けられる人」から「助ける人」への実践) ☐物資搬送訓練 ☐給水訓練 ☐物資搬送訓練 ☐炊き出し訓練	

みんなが「考動」できる防災訓練(例2-②:□□地区12月訓練)

災害時の自主防災活動	防災訓練メニュー 袋井〇〇支部(袋井〇小学校) 袋井〇〇自主連合防災隊本部 〇〇自主防災隊本部(10隊) (公会堂・公園・広場等)	
① 初期消 	■初期消火訓練(袋井〇小学校で実施) ※消防団〇〇分団員や地域在住の経験者(消防団、消防、自衛隊等)による可搬ポンプや水消火器を利用した初期消火訓練 ※各自主防災隊の消火班又は災害時に各自治会で初期消火を先導する防災役員〇人参加(各自主防災隊〇人×10自治会=〇〇人) ※訓練効果—各自治会内に災害時の自主防災活動を先導する防災役員(住民)を増やす。(「助けられる人」から「助ける人」への実践)	
② 救出・救 	□応急救護訓練 □救出訓練 □負傷者の搬送訓練 —※消防署、消防団、保健師、— —看護師、自衛隊等	■応急救護訓練(各地域訓練会場) ※9月訓練参加者(袋井〇小)による家庭内や自主防災倉庫にある資機材を利用した応急救護訓練 ※各自治会の防災訓練参加者(全自治会員対象×10自治会) ※訓練効果—自治会内の全世帯に災害時の自主防災活動を普及。
③ 情報の収集・伝 	■報告様式による情報収集・伝達(袋井〇支部 ⇄ 10自主防災隊本部) ・安否確認 ・被害報告 必須 ■本部運営訓練(市指定避難所) ■無線等の通信テスト ・自主防トランシーバー ・市デジタル無線 ■災害支援システムの運用	■本部運営訓練(公会堂等) ■無線等の通信テスト ・自主防トランシーバー ※従来からの防災訓練を実施
④ 避難誘導 	■自主防台帳を活用した安否確認 ■黄色いタオル、旗等の掲出訓練 □要避難者の避難支援 □地区内の巡回、危険箇所の広報 □自宅から市指定避難所まで避難誘導 □地震、水害時等の避難経路確認 ※従来からの防災訓練を実施	■自主防台帳を活用した安否確認 ■黄色いタオル、旗等の掲出訓練 □要避難者の避難支援 □地区内の巡回、危険箇所の広報 □自宅から市指定避難所まで避難誘導 □地震、水害時等の避難経路確認 ※従来からの防災訓練を実施
⑤ 避難所の管理・運 	□住民による避難所運営訓練 □避難所運営委員会設置訓練 □要配慮者の受け入れ訓練 □学生の手を取り入れた訓練 □ペット同行避難訓練 □仮設トイレ設置訓練 □ろ水機の取り扱い訓練 □物資搬送訓練 □給水訓練	■住民による避難所運営訓練(各地域訓練会場) ※9月訓練参加者(袋井〇小)による自主防災倉庫資機材の紹介、避難所(公会堂)設営、受付方法、役割分担説明等の運営訓練 ※各自治会の防災訓練参加者(全自治会員対象×10自治会) ※訓練効果—自治会内の全世帯に災害時の自主防災活動を普及。

3 自主連合防災単位で支援可能な訓練項目

日時：9月、12月防災訓練

場所：19支部訓練会場（コミュニティセンター、小中学校 など）

防災活動	訓練項目	支援団体・人材
① 初期消火 	放水訓練・指導	袋井市消防団
		消防団OB
	可搬ポンプ運転訓練	(株) 日本防火研究所
② 救出・救助 	救護所訓練	救護所職員
	重量物排除救助訓練 (救出救助訓練)	袋井消防本部
		陸上自衛隊※確認中
	応急救護訓練	袋井消防本部
		陸上自衛隊
		中東遠総合医療センター
		(静岡県看護協会中東遠地区支部)
		袋井市消防団(女性消防隊)
		袋井市救護衛生班(保健師)
③ 情報の収集・伝達 	情報伝達訓練 (報告様式による情報伝達、無線等の通信 など)	支部職員×19支部
		自主連合防災隊長
		地域防災指導員
④ 避難所の管理・運営 	避難所設営訓練 (資器材設営、女性の視点、要配慮者スペース など)	支部職員×19支部
	トイレ設営訓練	支部職員×19支部
	防災啓発 (家具等の固定、水害への備え、外国人支援 など)	支部職員×19支部
	ペット同行避難訓練	静岡県動物管理指導センター
	応急給水訓練(給水車)	袋井市水道班×1班
		陸上自衛隊
	ろ水機を使用した給水訓練	支部職員×19支部
		大学産業(株) ※防災訓練日以外は要相談
	電源供給訓練(電気自動車)	袋井市経理財政班×1班

※上記は、これまでに実施している訓練項目を紹介しているものです。(今年度の訓練において、支援を確約するものではありませんのでご承知ください。)

※上記と同様の訓練支援を希望する場合は、各支部長にご相談ください。

※一つの団体に複数の希望があった場合には、支援可否も含め調整させていただきます。

自主防災隊単位で支援可能な訓練項目

日時：基本いつでも、1ヶ月前までに予約（要相談）

場所：袋井消防庁舎・袋井防災センター

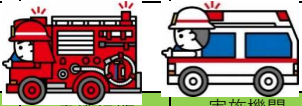
施設見学・講習・訓練等項目一覧

【袋井消防庁舎・袋井市防災センター】

施設見学

No.	項目	内容	おすすめ対象者	所要時間	実施場所	実施機関
見ー1	施設見学(消防所管、市所管)	消防執務室や出動準備室、災害対策本部や免震装置などをご見学いただけます。	すべての方	40分	庁舎棟	消防署 危機管理課
見ー2	消防車両説明	ポンプ車や救急車などの性能や用途、積載資器材を説明します。	すべての方	30分	庁舎棟	消防署

訓練指導

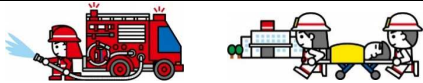


No.	項目	内容	おすすめ対象者	所要時間	実施場所	実施機関
訓ー1	煙避難訓練(暗中避難訓練)	充滿する煙の中(暗闇)を安全に避難する方法を学習します。	すべての方 (未就学児童は要相談)	1人約3分	訓練塔	消防署
訓ー2	消火器取扱訓練	訓練用水消火器を使用し、消火器の使用方法を学びます。	すべての方 (未就学児童は要相談)	1人約1分	訓練塔	消防署
訓ー3	負傷者等搬送訓練	ケガ人や病人、要介護者の搬送方法について学びます。	自主防災隊、介護施設職員、病院職員	20分	応相談	消防署
訓ー4	可搬ポンプ取扱訓練	可搬式消防ポンプの基本的な取扱方法やメンテナンス方法を学びます。(防火水槽・消火栓)	自主防災隊、自衛消防隊	30分	訓練塔	消防署
訓ー5	狭所空間避難(救出)訓練	狭い空間からの避難や救出方法を学びます。	自主防災隊、自衛消防隊、防火管理者	20分	訓練塔	消防署
訓ー6	ロープ結索訓練	ロープの基本的な結索方法を学びます。	すべての方	20分	訓練塔	消防署
訓ー7	重量物等排除訓練 (リフティングなど)	ボールやジャッキなどを使用して、重量のある瓦礫などを持ち上げ(リフト)て、その間に材木(クリブ)等を組み合わせながら入れることにより重量物に挟まれている人を救出する方法を学びます。	中学生以上	応相談	訓練塔	消防署
訓ー8	着衣着火対応訓練	衣服に火炎が着火した際の対応を学びます。	すべての方	応相談	応相談	消防署
訓ー9	屋内・屋外消火栓設備取扱訓練	事業所などに設置されている屋内・屋外消火栓設備の取扱方法を学びます。	自衛消防隊、防火管理者	15分	訓練塔	消防署
訓ー10	自動火災報知設備取扱訓練	事業所などに設置されている自動火災報知設備の取扱方法を学びます。	自衛消防隊、防火管理者	15分	訓練塔	消防署
訓ー11	避難はしご取扱訓練	マンションなどに設置されている避難はしごの取扱方法を学びます。	自衛消防隊、防火管理者	15分	訓練塔	消防署
訓ー12	危険予知トレーニング	子供に合わせた防災教育です。教材となるイラストを見て、火の危険性や対応策を学びます。	満3歳児以上	応相談	庁舎棟	消防署

体験学習

No.	項目	内容	おすすめ対象者	所要時間	実施場所	実施機関
体ー1	消防車両乗車体験	ポンプ車や救急車などに体験乗車します。(走行しません。)	すべての方	応相談	庁舎棟	消防署
体ー2	ロープ渡過体験	仮設の渡過ロープを設定し、救助隊員の体験をします。	小学生以上	1人約3分	訓練塔	消防署
体ー3	放水体験	消防車などによる放水を体験します。	小学生以上(4年生以上)	1人約3分	訓練塔	消防署
体ー4	地震体験車搭乗体験	地震体験車に搭乗し、地震の揺れを体験いただけます。	小学生以上 (未就学児童応相談)	1回約5分	応相談	消防署

各種講習



No.	項目	内容	おすすめ対象者	所要時間	実施場所	実施機関
講ー1	小児の応急処置講習	小児に起こりやすい病気やケガの予防方法や応急処置について学びます。	すべての方	応相談	応相談	消防署
講ー2	AED取扱い及び心肺蘇生法講習	AEDの取扱いと心肺蘇生法について学びます。	すべての方	応相談	応相談	消防署
講ー3	エビペン講習	エビペンの使用方法とアナフィラキシーショックについて学びます	すべての方	応相談	応相談	消防署

お手頃パック

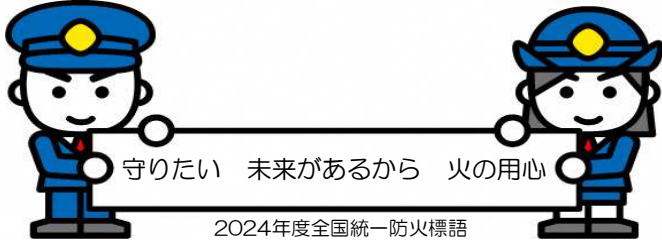
No.	項目	内容	おすすめ対象者	所要時間	実施場所	実施機関
バックー1	見学ベーシックパック	〈見ー1、2〉をまとめて見学・体験いただけます。	すべての方	70分	庁舎棟	消防署 危機管理課
バックー2	消防用設備訓練バック	〈訓ー9、10、11〉をまとめて見学・体験いただけます。	自衛消防隊、防火管理者	45分	訓練塔	消防署
バックー3	少年消防クラブ体験バック	〈見ー1、2〉 〈訓ー1、2〉 〈体ー3〉をまとめて見学・体験いただけます。	小学生	60分以上	庁舎棟 訓練塔	消防署 危機管理課

【注意点等】

- ・見学、訓練指導、体験学習、各種講習をご希望の方は、書面による申し込みの前に、電話等で下記担当までご相談ください。
- ・上記「項目一覧」は参考例です。見学や訓練指導などの内容、所要時間、実施場所については、可能な限りご要望にお応えします。
- ・見学や訓練指導中に管轄区域内で災害が発生した場合は、見学等を中止させていただく場合がございます。

【申し込み・相談窓口】

住所：〒437-0012 袋井市国本2907番地
担当：袋井市森町広域行政組合袋井消防署 地域支援係
電話：0538-44-5119 F A X：0538-43-5751
E-mail：shobo-f@city.fukuroi.shizuoka.jp



袋井市災害ボランティアの会の「防災出前講座」！

地震への備え、避難所の運営など「出前」します！

「1回だけ」「30分だけ」でもOK！



1日に2時間・・・3回に分けての講義もOK！



・参加者の対象は、

小学生からお年寄り、サロン活動、自治会活動、防災訓練、
防災隊役員研修・グループの研修、新入社員・新人研修など、
どんな会合でもご相談下さい。

(地域防災訓練での工夫・メニュー・アドバイスできます)

講座のメニュー

- ・ボランティア活動写真展示
- ・防災クイズ(子供向け、大人向け)
- ・HUG(避難所運営ゲーム)体験
- ・防災紙芝居(オリジナル、子供向け市販)
- ・包装食袋を使った非常食作り(体験)
- ・非常持出し袋、非常食の実例
- ・ハザードマップと避難所運営
- ・マイタイムラインを作ろう
- ・台風15号の教訓(自助、近所、共助、公助)
- ・防災カルタ(子ども、老人向け)

これまでの実績例

- ・豊沢ふれあい会館防災講座
- ・袋井南どろんこ教室
- ・高南小 放課後児童クラブ
- ・袋井北小5年生「防災教室」
- ・民生・児童委員研修会
- ・延久サロン(防災講座)



申し込み・ご相談・連絡先

袋井市災害ボランティアの会

代表 牧野英一 (090-2137-9339)

防災・減災を学び地域に繋げたい
女性の力を地域防災に「出前講座のお知らせ」

いつ起きるかわからない災害に対して平常時から防災、減災への備え、知識を身に付けておくことがとても大切です。そしてこれからの災害時には女性の視点を取り入れた支援が求められています。私たちは、定期的な学習会や地域への出前講座、講演会企画などの活動を行っています。

出前講座の内容

- ♥ 備えておくの良い防災用品
- ♥ 簡単身近なもので防災グッズを作ろう
- ♥ 災害時の対応・応急手当
- ♥ 女性の視点を取り入れた避難所生活とは
- ♥ HUG(避難所運営ゲーム)
- ♥ 危険箇所マップの作成など



自治会や防災担当の役員の皆様へ

地域に出向いての学習会を考えていますので一緒に学びましょう。
下記にご連絡ください。

女性防災推進ネット 代表 渡辺 美千代
「チーム FUKUROU」 事務局 080-5111-1283 竹村